

恩師訪問

藤森健司先生

今回は社会の藤森健司先生がお客様です。藤森先生に一年時に担任していただき、部の顧問としてもお世話になった広報委員柘植静子（平成四年卒）が、十一月十七日、同窓会館にて、取材させていただきました。

秋田高校に勤務された当時のことを教えてください。

昭和六十二年四月から平成七年三月までの八年間と、その前にも着装自由化で揺れた昭和四十年代後半の五年間、本校に勤務しました。着装自由化のころはやはり、生徒たちの自己主張が強かったですね。先生方の大半は慎重論を唱えていましたが、私自身は着装の自由化には賛成でした。もっとも、心に秘めていました。

二度目の赴任は、学校全体が受験重視の体制で、正直違和感を覚えました。教育センターにも勤務し、受験のためだけでない、理想の授業について研究していたので、特にそう感じたのだと思います。でもほとんどなくそれにも馴染んでしまいました。

社会の先生はいろいろな科目をもたれるので大変ですね。知識もたくさん必要です。主な担当は世界史、と言っ

でも大学では東洋史が専門で、中国以外の国については教える立場になってから勉強して知識を増やしました。当時は教材研究に専念できる環境にありましたね。世界史の他に倫理も担当し、多くの人の思想に触れて哲学について考えるのが楽しかったです。授業は生徒の反応も面白かったですよ。たまに生徒たちに文章を書かせましたが、性善説と性悪説のどちらを支持するか問い、生徒たちの意見は性悪説が多かったのが強く印象に残っています。

懐かしい。それ、覚えています。たしか私は性善説を支持したと思いますが、少数派だったんですね。

他人の思想に触れ、自分はどう考えるか。これがおもしろいのですよね。

先生は中国にも行かれたこ

甘肅省史発表が目標 「大らかな人になれ」

とがあると同ったのですが。

秋田西高勤務時代、秋田県と甘肅省との交流事業で甘肅省の師範学院の学生として八カ月ほど研修をしてきました。通訳付きで講義を受け、甘肅省の歴史を学びました。妻も同行し、アパートを借りて暮らしていたんです。妻は今も中国語を勉強しています。そのとき出かけた北京の天安門広場で、英雄記念碑を見上げ、言葉にならないほどの感動を覚えました。機会があれば、一度行ってみたいですね。



退職後はどのようにお過ごしですか？

今年の三月まで非常勤講師をしていました。秋田工専で七年、並行して聖園短大で五

年。週二、三回でも授業があると張り合いがありました。授業があるから勉強していたのであって、それがなくなると、勉強はしないものですね。それでも、現役時代のつながりから互助会厚生部の役員や博物館友の会の会員として、旅行に出たり、行事の手伝いをしたりという機会があります。津和野に出かけ、森鷗外の史伝を読んだり、韓国の慶州で石仏に触れ、古都新羅の歴史を学んだり、今は旅行をきっかけに勉強するのが楽しいですね。

今後の目標は？

一応健康にも気を配って、たまに一ツ森公園に出かけてウォーキングをしています。

甘肅省の歴史をまとめて学会に発表することかな。大漢和辞典を片手に、少しずつ整理したいと思っています。あとはヨーロッパに行ってみたいですね。授業では行ってきた、見てきたように話していたけれど、まだ見ていないものがたくさんあります。イタリアのローマやフィレンツェ、フランスの大聖堂のステンドグラスもいいですね。

奥様と一緒にいられるんですか？

そうですね。妻とは私の実家の諏訪に一緒に行くくらいですからね。

先生のご出身は諏訪なんです。なぜ秋田で教師に？

歴史が好きというだけで東京教育大学史学科に進み、周りもほとんどが教師になりました。私は末っ子で、フリーだったし、大学の教授が頼まれてきた就職口に乗ったというのが正直なところですよ。

不思議な御縁ですね。では最後に、秋高生にメッセージをお願いします。

受験勉強だけに必死にならずに、余裕のある、おらかな人になってください。

記念贈答品・紙製品・日用雑貨

有限会社 マルイチ

代表取締役 **一 関 千里**
(昭和38年卒)

〒010-0916
秋田市泉北二丁目10-15
TEL・FAX 018-863-3048

医療法人 清 瞭 会 **吉本眼科病院**

診療時間 月火水金 午前9時～12時
午後2時半～5時30分
木 土 午前9時～12時
日曜・祭日 休 診

〒018-845-1632
土崎港中央3-4-36 TEL018-845-1632

院長 **吉 本 弘 志**
(昭和38年卒)